

波の伊八を巡る

今回は、葛飾北斎にも大きな影響を与えたといわれている、江戸時代の彫物大工、武志伊八郎信由（たけし・いはちろうのぶよし）通称「波の伊八」のゆかりの地を巡りました。

- 日 時 平成 20 年 5 月 17 日（土）
午前 9 時から午後 5 時 30 分
（JR 大網駅集合——バス移動——JR 鴨川駅経由千葉駅解散）
- 場 所 「波の伊八」ゆかりのいすみ市、鴨川市内の社寺等、および鴨川市郷土資料館
- 日 程 9:00 JR 大網駅 集合
↓バス移動（いすみ市へ）
10:30—11:15 ①行元寺（ぎょうがんじ）
↓バス移動（鴨川市へ）
12:30—14:00 ②鴨川市郷土資料館
昼食＋講座＋見学
↓バス移動（鴨川市へ）
14:10—15:10 作品見学
③金乗院（こんじょういん）
④伊八誕生の地
⑤吉保八幡神社（きっぼうはちまんじんじゃ）
↓バス移動
15:30 JR 鴨川駅 解散
↓バス移動（千葉市へ）
17:30 JR 千葉駅 解散

【見学のポイント】

- ①行元寺:客殿の欄間に葛飾北斎に影響を与えたといわれている作品があります。
- ②鴨川市郷土資料館:一部、波の伊八の作品を展示しています。
- ③金乗院:仁王門の彫刻は、初代伊八 20 代の作品とされています。
- ④吉保八幡神社:本殿の彫刻は、初代伊八 30 代の作品とされています。

●大網駅からバスはスタート。車中では、下知識にと、伊八関連のビデオを見ました。

○行元寺(いすみ市荻原)

天台宗。嘉祥2年(849)慈覚大師円仁によって、伊東大山(現・夷隅郡大多喜町伊藤)に草創。帰朝後、東国で最初に開山された天台寺院であることから、東頭山と名づけられ、東頭山三学院無量寿寺と称して隆盛を極めました。その後、一度戦火のため焼失し、平重盛によって荻原の地に移され、復興。のち、再度戦火にあい、冷泉大納言・二階堂行元によって再興され、その名を寺名として東頭山無量寿院行元寺と改称しました。中世以降、房総天台教学の拠点となり、上州世良田長楽寺はじめ、京都・鎌倉からの仏教文化の交流が深く、房総の文化発信に大きく寄与しました。



▲ご住職の力説を拝聴。



▲その後、伊八の作品を見学。

●行元寺での見学が終わると、バスは一路、鴨川へ。好天に恵まれ、景色も上々でした。

○鴨川市郷土資料館(鴨川市横渚)



▲昼食後、学芸員さんの解説を聞きつつ、伊八の展示品を拝見。年齢によって変化が認められます。

●続いて金乗院へ。学芸員さんも同行し、興味深いお話をしてくださいました。

○金乗院(鴨川市打墨)

真言宗智山派。慶長13年(1608)創建と伝えられています。現在の大日堂は昭和10年の建立で、伊八の彫物を再利用したもの。それらが以前の建築にどのような形で取り付けられていたのかは不明です。一方、同寺の山門(仁王門)は、安永4年(1775)の建立。明治35年の台風で一度大破しましたが、直後に改修、その際には四代伊八の彫物も付与され、その結果、初代伊八の作品と混在しています。



▲まず、山門を見学。



▲次に大日堂を見学。

●金乗院の近くに伊八誕生の地があり、代々の墓をみることができます。

○伊八誕生の地

初代・伊八は、宝暦2年(1752)安房国長狭郡下打墨村(現・鴨川市西条地区)の生まれ。文政7年(1824)73歳で亡くなるまで、彫物大工として、およそ50年間、安房・上総を中心に江戸・相模まで広い地域の寺社建築を装飾する彫物の制作を続け、数々の傑作を各地に残しました。その作風の特徴としては、立体的で奥行き感のある空間の表現に優れている点が挙げられますが、現在では、特に躍動感に満ちた波の表現が優れているとの評価が高いことから、初代・伊八は通称「波の伊八」とも呼ばれています。そして、のち、伊八は五代続き、後世、一族は高石姓を名乗ります。



●バスはいよいよ最後の見学地、吉保八幡神社へ。この日は地元のご配慮をいただき、特別に拝観することができました。

○吉保八幡神社(鴨川市仲町)



吉保郷の旧郷社。天長6年(829)淳和天皇の創建といわれ、足利尊氏や里見義実などの祈願所として栄えました。社伝に、天明年間(1781～88)に本殿の営繕が行われたとの記録がありますが、以降、全面的に改修したと推定されます。なお、鎌倉時代中期から伝える流鏑馬神事は、同社の9月下旬の例祭時に行われる神事で、県指定無形民俗文化財にも指定されています。神殿前の馬場(直線約200m)に的を3ヶ所立て、1走3回で3走し、合計9的を騎射し、一番的(まと)にあたれば早稲、二番的が中稲、三番的が晩稲などと、その的中の度合いで次年の豊凶、適種を占います。

●こうして、見学は無事終了。たいへん有意義な1日を過ごすことができました。参加者の皆様、お疲れ様でした。そして、ご協力ありがとうございました。